タイの文化・歴史に触れる

東南アジア・スタディツアー

東南アジア・スタディツアーが8月下旬から9月中旬にかけて国際交流協定校のタイ商工会議所大学（UTCC）で開催された。五つの学部の1～4年次生8人が参加。タイ語やタイの文化・歴史を学び、UTCCの学生らとの交流を深めた。

このプログラムは、世界を舞台に活躍できるグローバル人材の育成を目的に、東南アジア圏の社会・文化への理解を深めるとともに、現地学生との交流でコミュニケーション能力の養成やSDGsなど国際的な取り組みや課題について多角的に学ぶことを主眼としている。昨年度はオンライン開催であったが、今年度はオンラインと海外渡航を組み合わせたハイブリッド型の留学プログラムとして初めて実施した。

19日間のプログラムのうち、前半はオンラインでのタイ語、タイの文化・歴史の学修。後半の2週間はタイでの実践となり、UTCCの学生との交流やキャンパスツアー、フィールドトリップ、タイやASEANにおけるSDGsなどについて学んだ。

9月23日には生田キャンパスで成果発表会が開かれた。後藤璃音さん（文3）は「コミュニケーションや異文化理解について学ぶことができた。会話（タイ語も英語も）では間違いを恐れず、主体性をもって話そうとする姿勢が大事だと感じた」と話した。八木達也さん（経営1）は「事前のタイ語のオンライン授業で分かった気になっていたが、現地での対面授業はまったく違った。話す回数が増え、理解が進んだ」と成果を語った。

タイで行われた「東南アジア・スタディツアー」

タイの文化について理解を深めた

海外留学・国際交流フェア

「第25回秋の海外留学・国際交流フェア」が9月30日、神田10号館のグローバルフロアで行われた。

現在留学中の学生による現地レポートや、中長期の留学を経験した在学生による相談ブース、国際交流センター職員による留学よろず相談など、多彩なプログラムが実施された。留学や国際交流に関心がある学生と海外からの留学生延べ123人が参加し、国際交流や留学プログラムについて理解を深めた。

留学を目指している学生たちは、相談ブースで先輩からの留学体験談を聞き、「具体的な話で留学のイメージをつかむことができた」と話していた。

グローバルフロアに多くの学生が来場した

初の沖縄セミナーに参加した学生たち

多角的な学びで見識深める

学生部セミナー

沖縄で初開催

学生同士の絆を深めながら、沖縄の文化や歴史を学ぶ「学生部セミナー」が9月4日から8日まで、沖縄本島で実施された。6学部の1～4年次生18人が参加。戦跡の訪問や民泊、校友との交流を通じて、見識を深めた。

学生部セミナーはコロナ禍を経て再開。今年初めて沖縄を訪問した。学部学年に限らない学生同士の交流や、返還50年以上たった沖縄の歴史をさまざまな角度から学ぶことを目的としている。

ひめゆり平和祈念資料館や平和祈念公園などを訪れ、担当者から戦時中や戦後の話を聞いた。報道や本で事実は知っていたが、話を聞くのは初めてという学生が多く、「実際に足を運んで見聞することで、より深く考えることができた」「今後も戦争や基地問題をみんなで考えていきたい」との感想が寄せられた。

3、4日目は沖縄本島北西部の本部町に民泊。同町でシークワーサー農園を営む饒平名知春さん（昭46法）宅で収穫体験を行った。また、それぞれの宿泊先で方言や伝統工芸を教わったり、沖縄料理を味わったりした。

最終日は名護市の海岸で「Clean Town in OKINAWA」を実施。美しい海岸で清掃活動に汗した。

参加した学生は「沖縄を多面的にみる良い機会になった」（経営1、酢谷美咲さん）、「セミナーに参加したことで、自分を成長させるには人との関わりが不可欠だと感じた。これからも恐れず人と関わり続けたい」（国コミュ3、田中りひろさん）などと5日間を振り返った。

海岸で清掃活動に取り組む学生

就職だより

秋の留学受け入れプログラム

〈3年次生へ〉11月からオンライン企業研究セミナーを開催します。業界を牽引するリーディングカンパニーや本学卒業生が在籍する企業などをお招きして、取り組み内容や今後の展開を中心に紹介します。秋・冬のインターンシップやオープンカンパニーについての有益な情報を得ることもできる本学限定イベントですので、積極的に参加してください。詳細は、「in Campus」にて確認してください。

なお、キャリア形成支援課で就職活動に関するサービスを受けるためには「求職登録」が必要です。登録が済んでいない人は、すみやかに就職支援システム「S-net」で登録してください。

〈4年次生へ〉10月18日(水)～20日(金)の3日間、オンライン学内企業説明会を開催します。本学学生の採用意欲が高い優良企業をお招きしますので、就職活動継続中の学生はこの機会をぜひ活用してください。詳細は「in Campus」にて確認してください。

また、進路決定者は就職支援システム「S-net」から「進路届」を必ず提出してください。

日本語を学ぶ短期留学生を受け入れる秋期日本語・日本事情プログラム（JLC）と日本理解プログラム（BCL）の開講式が9月25日、生田キャンパスで開かれた。

JLCでは日本語学習や日本文化体験を行い、BCLでは日本語の修得などに加えて日本のビジネスやカルチャーについて英語で講義を受ける。今回の受講者は国際交流協定校からの留学生に加え、イタリアからの一般参加、ウクライナ避難民支援の参加者計9カ国21人＝写真。12月15日までの3カ月間にわたり、国際交流会館に滞在し、生田キャンパスで学ぶ。

ラオス国立大学のビシソムバト・アティッサワンさんは、滑らかな日本語で「もっと勉強して、日本語を聞く、話すといった力を伸ばしたい」と意気込みを語った。

主なキャリア形成支援プログラム（後期）

〈実施方法・分類〉
ラ ライブ配信　オ オンライン講義　動 動画配信　対 対面

プログラム名	日程	形式
心理検査：自己理解ワークショップ	神田：10/26(木) 12/19(火) 生田：11/21(火) サテライト：2/7(水)	対
SPIオンライン準備講座	5/18(木)～3/29(金)	動
SPI模擬試験 ※オンライン受検	受検期間：4/17(月)～3/29(金)	―
学内OB・OGオンライン相談会	11/ 9(木) 11/10(金) 11/11(土) 11/17(金) 11/18(土) 12/ 4(月)	オ
How to 企業研究	10月下旬～3月末日	動
企業選びで失敗したくない！「企業の見つけ方」	11/22(水)	ラ
3大学合同グループディスカッション実践講座	12/2(土)	対
オンライン模擬選考会（模擬グループディスカッション）	12月中旬	オ
面接のイロハ	11/15(水) 12/14(木) 1/31(水)	ラ
6大学合同模擬面接体験会	11/25(土)	対
大学合同企業人事担当者による模擬面接会	12/23(土)	対

※詳細はin Campus、S-netで。
事前申し込みが必要なプログラムもあります。

キャリア形成支援課では、上記以外にも低年次向けのキャリア形成支援プログラムを実施しております。詳細はin Campus、S-netをご確認ください。

緑地帯

雑草の想い出

皆さんも知っているかもしれないが、今年のNHK朝ドラでは植物が取り上げられていた。日本の植物学者である牧野富太郎の生涯と植物との関わりがテーマとなっていたからだ。この朝ドラの影響かもしれないが、ちまたでは急きょ、牧野博士の書籍が出版されたり、植物学への関心が高まったりしたようだ。

博士の「雑草という草はない」という言葉がある。皆さんもひょっとしたら耳にしたことがあるかもしれない。昭和天皇も牧野博士の著作を利用して植物観察に精を出していたそうであるが、「雑草という草はない」という言葉も、昭和天皇がある時に引用したために有名になったようである。

話は変わるが、我が家にも小さな庭がある。今年はこの気候のせいで、芝生の伸びに加え、雑草の伸びも非常に早いのには閉口している。そのため日中は暑いので、雑草取りはもっぱら早朝にしている。ここで牧野博士の言葉が関係するのだ。確かに雑草という名前はないのは理解できるが、汗だくだくで雑草取りをしていると、「この雑草め！」と文句が口をついて出てくる。どうも牧野博士のようにはなれない。残念だが、やはり人間としての器が違うのだろう。ただし、雑草関連で実践していることはある。小学校の卒業アルバムに担任の先生が書いてくれた「踏まれても踏まれても、立ち上がる雑草の強さよ」という言葉を心に留めて、苦しい時や辛い時を乗り越えてきたことだ。これからも、この気概は持ちたいと思う。

（学生部委員・一ノ宮士郎）